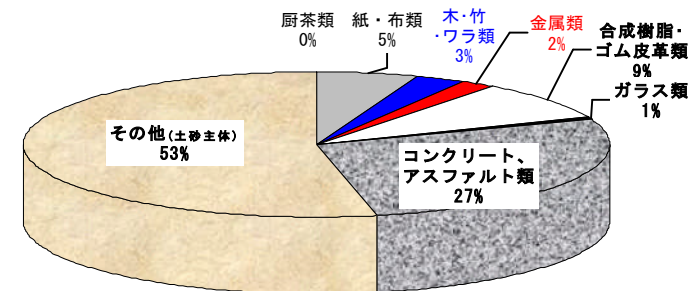


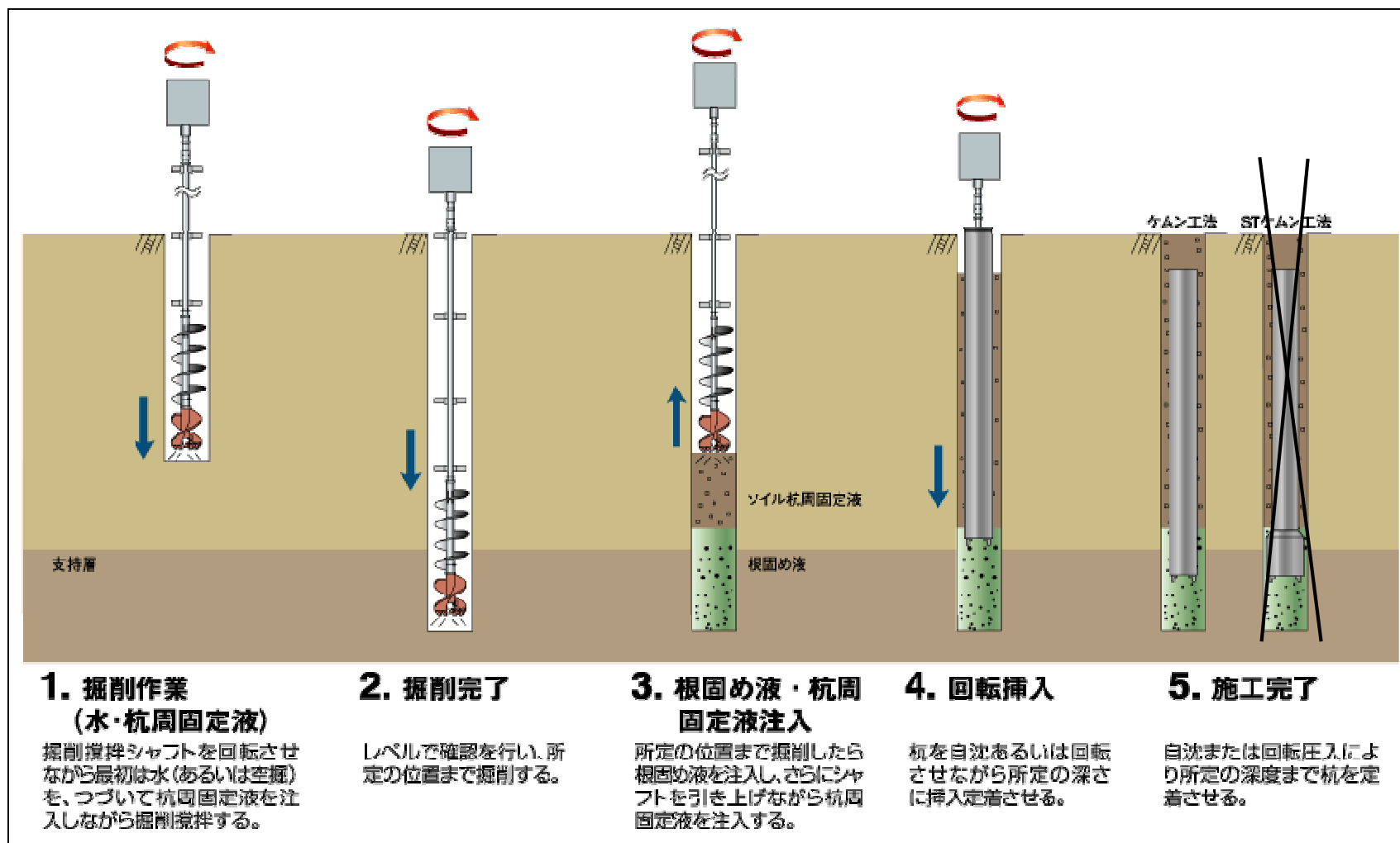
旧RD最終処分場支障除去等事業における廃棄物土の掘削量および内訳(現時点での想定量)

区分	掘削量および内訳(m ³)				
	有害物	ドラム缶および液状廃棄物浸潤土砂等	廃棄物(左記以外)	埋め戻し材	
	環境基準を超える有害物が溶出し地下水汚染の原因となるおそれのある廃棄物土	・液状廃棄物の入ったドラム缶、一斗缶等 ・液状廃棄物が浸潤した土砂等	廃プラスチック、木くず等	左記以外のもの	
場外処分				場内埋め戻し	
一次対策工	10,000	1,000	900	(8,100) ※二次対策で処理	
小計	10,000	1,000	900		
二次対策工					
既仮置き分	(14,670)	0	70	3,400	11,200
一次対策工仮置き分	(8,100)	0	0	1,900	6,200
有害廃棄物土掘削分	65,000	10,000	0	14,000	41,000
西市道側・経堂が池側掘削分	185,000	3,000	2,000	29,000	151,000
小計	250,000	13,000	2,070	48,300	209,400
合計		63,370			
【掘削量合計には仮置き分含まず】	260,000	14,000	2,970	48,300	209,400
場外処分/場内埋め戻し内訳(m ³) 【仮置き分含む】	274,670	65,270			209,400
廃棄物土全体の想定比率 【仮置き分含む】	100%	24%			76%

※ 下表の数値は現時点における想定であり、今後の調査等によって大きく変動する可能性がある。



【参考】廃棄物土の組成(平成19年度調査)



施工イメージ図